

I 基本的な考え方

国内外や県内の感染状況を見据えると、新型コロナウイルス感染症については、長期的な対応が求められることが見込まれる。こうした中においても、持続的に児童の教育を受ける権利を保障していくため、学校における感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減した上で、学校運営を継続していく必要がある。

そのために、『新しい生活様式の定着に向けた鹿児島県の取組(R2.5.26)』、『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～(R2.9.3)文部科学省』等や、志布志市教育委員会の指導等を踏まえた対応をしていく。

- 「3つの密を避けること！『密閉』『密集』『密接』」
- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける。可能な限り対面を避ける。
- 外出はマスクを着用する。
- まめに手洗い・手指消毒をする。
- 毎朝家族で体温測定、健康チェック。



II 保健管理に関すること

- 1 登校前に必ず検温をしてもらう。→ カードに記入 → 登校したら担任へ提出 → 担任は健康観察と同時にカードに記入された体温をチェック → 検温をしていない児童は保健室にて検温をさせる。【継続】
※ 市教委から非接触型体温計が各学校に1個ずつ配付済み。さらに2個購入予定。
- 2 登校後に発熱した場合は？
保護者にすぐに迎えに来てもらう。保健室にて休養・観察をする時間は1時間を目安とする。それ以上となる場合には、多目的室の利用も検討する。(その場合、職員が付き添う) 保護者にはいつでも連絡を取れる状況を作っておくよう協力を依頼する。【継続】
- 3 登校したらまず手指消毒をする。(ただし、石けんを使ったの手洗いが原則)
児童用玄関に消毒用のアルコールを置いておく。児童は登校したら、まずワンプッシュして手指を消毒する。アルコールによる手指消毒は、この他、給食当番の児童が準備時に行う。【継続】
- 4 児童も職員もマスクの着用を義務づける。
登校する際には、必ずマスクを着用させる。ただし、熱中症予防の観点から運動時にはマスクをつけさせない。【継続・新規】(児童には必要に応じてマスクの着脱を自分で判断し行動できる力を身に付けさせたい。)
- 5 入念な手洗いを徹底する。【継続】
石けんを使った入念な手洗いを指導する。(トイレ利用後、2校時休み、給食前、掃除後など) 手洗い後は、清潔なハンカチやタオル等で拭かせる。
- 6 教室の窓、戸は必ず開けて換気に十分配慮する。【継続】

片方のみでなく2方向開けて風通しをよくする。朝一番に登校した児童には、教室の窓を開けるよう指導する。

※ エアコンを使用しているも、休み時間ごとに5分程度窓を開けたり、常時対面する2カ所の窓を開けたりするなどの換気をするを徹底する。

※ 各教室に2台ずつ空気清浄機を設置している。(R2.9月より)【新規】

7 抵抗力を高める。【継続】

十分な睡眠や運動、バランスの取れた食事等、規則正しい生活習慣を心がけさせる。

※ 朝食を食べてこない児童が散見される。朝食の摂取状況調べも実施したが、今後もPTAと連携して保護者にも啓発をしていく必要がある。学校保健委員会(R2.11.26予定)では、この朝食の大切さについて取り上げる。

8 県をまたいだ旅行等の移動については、その地域の発生の動向を踏まえて慎重に判断すること。【継続】

東京都や大阪府、福岡県等への不要不急の移動は当面の間は自粛する。

児童が出かける場合には、保護者にはその旨を事前に学校に届けていただく。

職員の場合は、校長へ届け出る。帰鹿後、2週間は毎朝体温を測定し、自身の健康チェックを怠らないこと。【継続・新規】

9 職員の感染予防に努める。【新規】

・ 職員会議や職員研修などは、密にならないように部屋の大きさや座席の配置を工夫する。エアコン使用時も対面する2カ所の窓を常時開けて換気する。

・ 本人や家族に風邪症状が出た場合には、無理をせずに休養し、様子を見ること。※勤務処理については、状況を聞き取りその都度判断する。

・ 今後も見据えて、オンライン授業等について研修を進めていく。

10 万一児童やその保護者、職員から感染者が出た場合の対応について【新規】

志布志市教育委員会が作成した「新型コロナウイルス感染者発生に係る初動対応マニュアル」に基づき、保健所や市教委の指示・指導も受けながら、適切に対応していく。

(例) 感染者が発生した場合には、ただちに2日間程度の臨時休業の措置をとる。

※ 保護者など生活を一にしている者が発熱等の風邪症状が見られたときに児童が大事をとって登校を控えるなどした場合の扱いについては柔軟に対応する。(「出席停止」扱い等)

Ⅲ 学習指導に関すること

1 『3つの密』を作らない。

ア 机間のスペースを可能な範囲で取る。

イ ペア学習、グループ学習等をさせる場合にはできるだけ距離を取らせ、必ずマスクを着用させる。

ウ 体育での子供同士の密着した運動は、当面の間は控える。

※ 運動時はマスクはさせない。(マスクはポケットに入れさせておく)

エ 音楽での歌唱指導は、『3つの密』の状態では行わない。

※ 窓を開けて十分換気する。

※ 人との距離を十分に取る。

※ 必ずマスクを着用させる。

* 学習する際にマスクをしなくては支障が出ることを児童・保護者にしっか

り理解させる。

オ 家庭科の調理実習は、手洗いなどの感染予防をしっかりと行った上で2学期以降は実施する。【新規】

IV 給食指導について

1 給食当番について【継続】

石けんを使ってのていねいな手洗い後に清潔なハンカチやタオルで手を拭いた後、さらにアルコール消毒をする。健康チェック(下痢、発熱、腹痛、嘔吐等の症状の有無)と衛生的な服装であるかのチェックをし、記録をすることを徹底する。

2 給食前の手洗いの徹底について【継続】

当番以外の児童や職員も入念に手洗いをする。

3 指導体制について

下学年については、学級担任以外の職員も加わり、複数の教師で準備・指導にあたる。【継続】

4 児童機の配置について

当面の間は、グループを作らずに机の間隔を空けて前面を向いて食べる。おしゃべりは慎む。【継続】

V 集団での行事等について

1 体育館に全校児童が集まる行事(始業式、終業式、全校朝会、暗唱集会、避難訓練等)は、密接・密閉にならないように十分に配慮しながら、2学期から再開する。【変更】

2 運動会(9/27実施予定)【新規】

ア テントや体育館内等での密接の状態では昼食を食べることは無理があるだろうと考え、プログラムを精選し、午前中のみで開催とする。

イ 授業時数確保の観点から、練習時間を最も費やす表現(ダンスやなわとびのパフォーマンス)は今年度はプログラムから割愛する。入場行進も短縮する。

ウ 保護者等の来場者には人数制限はかけないが、事前に来場者の氏名を提出してもらおう。また、当日の朝の体温を記して受付で提出してもらおう。(測定していない来場者は受付で検温をする。) 事前に届けていない来場者は入場をお断りする。来賓の数も精選する。

エ 児童用テントは例年の2倍にして密を避ける。その分、保護者等の来場者用の集落テントが思うように張れないが、譲り合ってできるだけ密にならないよう利用してもらおう。来場者は熱中症には気をつけながらマスク着用をお願いする。

オ 「わかあゆ会」による緑門づくりは、今年度は中止にする。

3 修学旅行と宿泊学習について

ア 修学旅行は目的地を熊本方面から県内(霧島市、鹿児島市、指宿市、南九州市)に変更して、10/21~10/22に実施する。実施にあたっては、旅行業者とも密に連絡を取り合い、感染防止策を徹底する。【変更】

(例) ・ バスを中型から大型へ変更。

・ ホテルでは1部屋の人数割り当てを通常5人のところを3~4人へ。

・ バス乗車前や各見学先などでまめに手洗いや検温を行う。 等

※ 保護者にも感染防止策についてていねいに説明し、参加承諾書を提出して

- いただいた。(9/15現在 6年児童22人全員参加予定)
- イ 宿泊学習は、キャンプ泊のまま、10/29～30に延期する。【継続・変更】
テント泊は5人用テントから1人用テントへ変更。

VI P T A行事について

P T A役員(四役・各専門部長)との話合いの結果、以下のとおりとする。

ア 中止とするもの】

- * 給食試食会 11/6
- * 学習発表会 11/7
- * 各学級P T Aレクリエーション
- ※ 「P T Aバザー」については検討中。

イ 実施する予定のもの

- * 授業参観(持久走大会12/3)・学級P T A
- * 自由参観週間 11/2～11/6

VII その他

- 1 新型コロナウイルス感染症の3つの「こわい顔」に立ち向かう勇気ある行動のとれる児童の育成に努める。【新規】

- ア 第1の顔「病気」… ウイルスから自分を守る行動を、自分のためだけでなく周りの人のためにもすることが大切である。
- イ 第2の顔「不安」… 不安になったり、こわくなったりする気持ちに振り回されずに信頼できる人に相談する。
- ウ 第3の顔「差別」… 不安や怖がる気持ち・ストレスから「いじめ・偏見・差別」が生まれるのを止める。

- ★「確認しよう」→ その噂や書き込みは正しい情報なのか確かめる。
- ★「想像しよう」→ 自分の言動によって、相手はどんな気持ちになるのかを考える。
- ★「感謝しよう」→ 感染拡大防止や社会を支えるために、毎日頑張っている人がいることを理解する。